

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻市上田辺町計画 新築コ	階数	地上11F
建設地	高槻市上田辺町793-1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第二種住居地域、準	平均居住人員	81 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年2月7日
敷地面積	668 m ²	作成者	株式会社TOKI設計 内山恵太
建築面積	292 m ²	確認日	2017年2月9日
延床面積	2,324 m ²	確認者	株式会社TOKI設計 鳴戸元基



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (322 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 95% (306 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 95% (291 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 95% (276 kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	緑溢れる豊かな空間を感じられるようにした。	その他 特になし。
Q1 室内環境	窓を南面に大きくとり、明るく快適な空間を演出した。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周りに色彩豊かな植樹帯を設けると共に、緑豊かなブレイロットを設けた。
LR1 エネルギー	特になし。	LR3 敷地外環境 建物周りの植樹帯によって地表面の熱的影響に配慮すると共に、広告物照明を設けないことで光害の軽減を達成した。
Q2 サービス性能	特になし。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0113

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)高槻市上田辺町 計画					
	建設地	高槻市上田辺町793-1					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					3	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
項目		評価内容		
		スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.1	3
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 住戸・宿泊 3.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.7	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.0	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容		
		スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
その他				
先進的技術の導入		技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項				